

平成16年6月1日

プレアボイド報告書への新様式追加と改訂について(訂正版)

医薬情報委員会
プレアボイド報告評価小委員会

会員の皆様におかれましては、薬剤管理指導業務をはじめとした薬剤業務を実践され、薬学的患者ケアの実績を積まれていることと拝察いたします。また、日頃よりこうした薬学的患者ケアの成果を、当会で推進しますプレアボイド報告としてご報告いただきありがとうございます。

前号では、様式1に不備がございましたことを改めてお詫び申し上げます。

前回に引き続き、プレアボイド報告書書式の簡素化を目指した新様式追加と、旧書式の一部改定をお知らせ致します。

かねてより、会員の皆様のご要望の多かったプレアボイド報告書の簡素化に関して、委員会を中心に協議、検討を重ねて参りました。その結果、本年度より下記のように『処方支援等による未然回避報告』について簡略化した新様式を追加しましたので、ご案内いたします。

下図に示しますように、プレアボイド報告には、患者情報を基に処方支援を行い、副作用、相互作用等を未然に防止した報告(プレアボイドパターン①)と、発現した副作用、相互作用等を発見し、薬学的ケアにより遷延化、重篤化を防止した報告(プレアボイドパターン②)が存在します。

前者である未然回避報告の場合、旧報告用紙の経過欄等は必ずしも必要としないということをご考慮したものです。

つきましては、旧書式を一部改定し「様式1」(前号のものではなく次頁の書式をご利用下さい)として、遷延化、重篤化を防止報告用と致します。また、新たに「様式2」として、副作用、相互作用等を未然に防止した報告用の書式を追加致しましたので、報告に際してご利用下さい。

